



鈴木さとし

党秋田地区委員会副委員長（衆議院秋田1区予定候補者）



《プロフィール》1976年12月生まれ。47歳。築山小、河辺中、大曲工業高校電気科卒。1995年ネグロス電工(株)秋田研究所勤務。2007年参議院選挙、2009年衆議院選挙に立候補。2011年～2023年秋田市議会議員(3期)。

現在：日本共産党秋田地区委員会副委員長。

趣味：ものづくり、卓球、料理、観葉植物 家族：妻、長女(社会人)長男(高校生)

今の政治はどうでしょうか。

物価高騰に歯止めをかけられず、暮らしと生業に大きな負担となっています。

今、自民党の政治は、定額減税で面倒な事務を押し付け、裏では増税をし、みんなが助かる消費税の減税は絶対やろうとしません。異次元の金融緩和と消費税で輸出大企業を太らせ、企業団体献金で裏金作りに一生懸命です。

民間も公務員もどこでも人材不足のなか、自衛隊のなり手がいないと、子ども食堂や生活保護世帯に自衛隊の勧誘宣伝をする始末です。

憲法9条があるのに、軍事費は戦時下のウクライナより高い世界第10位。武器の輸出までやろうとしています。

そんな自民党が憲法を変えようとしています。これ以上、自民党の悪行三昧を続けさせるわけにはいきません。

日本共産党は、暮らしと経済を立て直す経済再生プランを持っています。

世界に誇れる平和の外交ビジョンを持っています。

ジェンダー平等、多様性を尊重する社会の実現のための政策を持っています。

資本主義の矛盾を乗り越え、貧困も戦争もない未来社会を皆さんと一緒に作り上げたい。まずは日本共産党の躍進と政権交代で、自民党の悪政から、暮らしと経済、平和と自由、民主主義を守るために全力で頑張ります。

日本共産党の 経済再生プラン

30年におよぶ経済停滞・暮らしの
困難を打開するために

3つの改革で暮らしに希望を

1

政治の責任で賃上げと
待遇改善をすすめる

人間を大切にする働き方への改革



2

消費税減税、社会保障充実、
教育費負担軽減

暮らしを支え格差をたどす税・財政改革



3

気候危機の打開、
エネルギーと食料自給率向上

持続可能な経済社会への改革

